

2月7日 2月朝会でのお話

「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。

そうではない。最も頭のいいものか。

そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ」

これは、ダーウィンという人が「進化論」という本で示した考え方です。

以前から、「子供たちには、激しく変化する社会を生き抜く力が必要だ」という言葉を様々なところで耳にしていました。

私は「携帯電話がなかった時代から、みんなが持つようになったと思ったら、スマートフォンが現れて、大部分のシェアを占めるようになる。」

激しく変化するというのは、例えばそのようなことかと軽く考えていました。2年前の冬までは・・・

しかし、2年前の冬、突如現れた「新型コロナウイルス」によって、私たちの生活はまさしく「激しく変化」しました。

外に出てはいけない、人と接してはいけない、マスクを外してはいけないと制限ばかりの生活が続き、3年目に入った今も、オミクロン株の流行が広がるなど、出口が見えません。

2月の生活目標は、「寒さに負けずにみんなで仲よく外で遊ぼう」です。

皆さんが広い校庭を以前と変わらず、元気に遅くそして明るく駆け回っている姿は、そのような中でも一筋の希望の光に思えます。

人は想像以上に図太い生き物なのかもしれません。歴史上、たくさんの困難に打ち勝ってきたのですから。

初めにご紹介した言葉にもあるように、私たちが激しく変化する社会を生き抜くためには、この状況に不平を言うことではなく、変化に対応しながら、元気に明るく過ごしていくことだと思います。

どうか皆さん、2月も心身共に健やかに過ごしてくださいね。